

2008年度 同志社大学大学院
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程
入学試験 第2次審査
試験問題

法律科目試験
(行政法)

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけない。
2. 資料として配付する六法もケースに入れて机の上に置き、試験開始の合図があるまで、開けてはいけない。また、六法に傍線等書き込みや折り曲げをしてはいけない。
3. 筆記用具（ペンまたは鉛筆）、消しゴム、下敷き（ただし、下敷き使用の場合は監督者の許可を得ること）、その他監督者が特に許可したもののほかは使用できない。これ以外の携行品は、監督者の指示に従って所定の場所に置くこと。
4. 問題紙の本文は、1頁である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答用紙は、3枚1組である。
6. 各解答用紙の左下に受験番号の記入欄がある。組になっている2枚目以降の解答用紙の受験番号欄にも受験番号を正確・明瞭に記入すること。
7. 解答は、ペンまたは鉛筆で記入すること。
8. 試験開始後は、終了まで試験場から退出できない。
9. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示に従わない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させる。
10. 試験中に気分が悪くなる等やむを得ない場合は、黙って手を挙げ、監督者の指示に従うこと。
11. 試験終了の合図とともに、すみやかに筆記具を置き、監督者の指示を待つこと。許可があるまで試験場を退出できない。
12. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。
13. 携帯電話やPHS等の通信機器の使用は認めない。電源を切ってカバン等にしまうこと。
14. 試験時間中の飲食は禁止する。ただし、水分補給のため、ふた付きのペットボトル（ペットボトル以外は不可）に入った飲料を持ち込んで飲むことを認めるが、机の上に容器を置かず、必ずふたを閉めて足元に置き、机上にこぼしたり、水滴によって解答用紙を汚損しないよう十分注意すること。

2008年度 同志社大学大学院
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程
入学試験問題 法律科目試験

(行政法)

以下の問に答えなさい。

「第1問」

行政立法について述べなさい。

「第2問」

甲市の市長Aは、株式会社Bに対して、地方自治法238条の4第7項により市庁舎の一部を使用することを許可し、そこで職員等のための食堂を経営することを認めていた。ところが、使用許可後十数年を経て、Bに悪質な使用条件違反があったことが発覚したので、Aは、Bに対する市庁舎の使用許可を取り消した。そして、Aは、Bに対し、市庁舎の明渡しを要求したが、Bは、Aの市庁舎の明渡し要求に、なかなか応じなかった。そこで、Aは、行政代執行法の定める代執行手続により明渡しを求めようと思い、Bに対し戒告をした。Aは、Bの明渡しを求めるために行政代執行法によることができるか。